

フィルム、容器・シート、関連資材・原料

食品容器約122万個

緊急支援物資を提供

リスパック(愛知県大山市、☎05568067・5748)は、岐阜プラスチック工業グループの一員として、東日本大震災の被災者に義捐金として1000万円と、緊急支援物資として宮城県災害対策本部宛てにプラスチック製食品容器を121万7900個を寄贈した。

リスパック

リスパック(愛知県大山市、☎05568067・5748)は、

日本製紙

勿来工場が一部操業再開

今後も順次再開に努める

日本製紙(東京都千代田区、☎03・6665・1016)は、4月4日に東日本大震災により被災し、操業が停止していた勿来工場(福島県いわき市)の一部操業再開を発表した。

同工場の主要設備である塗工機は津波による被害がほとんど無かったものの、バイオマ

スボイラーが損傷し、稼働を停止していた。

バイオマボイラー復旧に向けて、ディールエンジンで発電を行い、4月5日から感熱紙専用塗工機1台を再稼働した。

同社ではほかの3台の塗工機についても4月中旬をめどに順次稼働させる。

また、同社では被災地に向け支援物資を提供する。

今後、計画停電や間接的な被害などは随時発表する。

中央化学

支援物資合計約69万個を提供

被害なども順次発表

中央化学(埼玉県鴻巣市、☎048・540・2624)は3月29日に、東日本大震災の被害状況を発表し

た。

現在調査継続中ではあるものの、資産の棄損と建物、機械設備などの補修、製品の破損などを合わせ約3億円

と算出した。

三菱樹脂

生産設備の状況を発表

郡山製造所再開

三菱樹脂(東京都中央区、☎03・3279・3800)は3月28日に、東日本大震災による同社および同社

グループ会社の生産設備の状況を発表した。

三菱樹脂郡山製造所(福島県郡山市)は3月末に生産を再開し

た。三菱樹脂筑波工場(茨城県牛久市)の延伸設備は再開した。残りの設備は再開に向け準備中。MKVドリーム守谷生産センター(茨城県成樹脂金成工場(宮城県栗原市)は生産を再開している。

また、対応できる。したり、青果物や贈答

業を開始する。

なお、石巻工場(宮城県石巻市)、岩沼工場(宮城県岩沼市)はいまだ操業を全停止している。

逆止弁機能型PE袋を開発

和弘プラスチック工業

和弘プラスチック工業(大阪府八尾市、☎072・923・4201)は、フィルム自体に逆止弁機能を備えたポリエチレン製の袋を開発した。

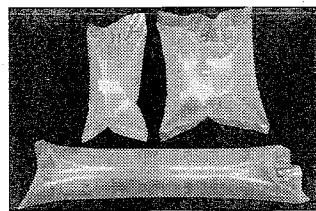
従来のように別個の逆止弁を装着することなく、2枚のフィルムの縁を特殊形

に逆止弁機能を備えたポリエチレン製の袋を開発した。

従来のように別個の逆止弁を装着することなく、2枚のフィルムの縁を特殊形

に逆止弁機能を備えたポリエチレン製の袋を開発した。

従来のように別個の逆止弁を装着することなく、2枚のフィルムの縁を特殊形



緩衝材、応援グッズなどに

部分に逆止弁作用のある5・5ミリの程度の気道を形成する。

この袋にストローや簡易型注入機などで空気を注入して風船のように膨らませると、内圧によって縁部分に負荷

がかかり凹状となり、気道部分が密着して封止

できる。とともに、細めのストローを挿入すれば、簡単にエアを抜くことができる。着色や印刷も可能。強度は強く空気漏れがないほか、突き刺し強度も十分。コストも従来の逆止弁を使用した製品と比較して約半分という。

昨年10月には、専用製袋機を1台導入し、生産体制を整えた。厚さ0・1ミリの幅800

ミリで、長さは用途に応じてとされる。

現在、新技術を用いて、エア緩衝材をはじめスポーツ用観戦グッズ、クッション材、販促品、バルーンなどの用途展開を進めている。

袋の規格は、厚み0・1×300×500

50ミリの1セット45枚入りで価格は1000

円、厚み0・1×400×550+50ミリの1

セット30枚入りで100

0円、厚み0・1×500×550+50ミリの1

セット25枚入り100

0円となっている。

今年4月には、同製品

品など付加価値製品の

営業部門を新設。「消

費者や事務所向け製品

分野に注力しながら、

初年度600万円以上の

売りの上げを目指す」

(同社)としている。

包装用製造の新体制を発表

シーアイ化成

シーアイ化成は、4月1日に佐野工場の包装用資材の製造事業を会社分割し、同社100%子会社である関東ピーエスに事業継承した。継承会社の社名は関東サンプラス(栃木県佐野市)。

販売窓口は従来通り

シーアイ化成で行う。

特別損失の発生に関する

まで対応できる。

したり、青果物や贈答

緩衝材、応援グッズなどに

部分に逆止弁作用のある

袋の規格は、厚み0